

第8回近畿ユースクライミングカップ

参加者案内

第8回近畿ユースクライミングカップにたくさんのエントリーをいただきありがとうございます。

出場にあたり、選手・引率の方は、本案内をご覧の上、大会運営にご協力くださいますようお願い致します。

【会場・受付に関する注意】

1. 受付について

- 1-1 予選は全カテゴリー一斉受付となりますので、受付に時間がかかります。
時間に余裕を持ってお越しいただき、お早めに受付をお済ませください。
※特別な理由がない限り、受付時間に遅刻した場合、失格とさせていただきます。
- 1-2 受付後、競技説明までの間、選手は自分の競技順が来るまで自由に行動できます。
競技順が遅い場合は、会場を離れていただいても構いませんが、競技の進行が早まる場合もありますので、余裕を持って会場にお戻りください。
- 1-3 会場1Fビル前はイベントスペースですので、たむろしないようにお願いします。
- 1-4 決勝受付の際、各種通信機器の預かりはありません。付き添いの方へお預けください。

各日タイムスケジュールは別紙を参照してください

2. 会場内の注意について

- 2-1 会場内は土足禁止です。受付にて下足用ビニール袋を配布します。
※靴箱に収納しないでください。
- 2-2 施設備え付けのスリッパは**使用できません**。上履きを持参してください。
- 2-3 更衣室は利用可能ですが**荷物を置くことは禁止**です。3F会場に持って降りてください。
- 2-4 3F、4Fのボルダー壁を登ることは**禁止**です。
※競技終了後は、正規の施設利用受付を行ってください。
- 2-5 3F会場内は原則**飲食禁止**（軽食のみ可能）です。

会場施設は**4F通常営業**のため、一般利用者・ジム関係者に**迷惑がかからないよう各自行動**してください。

3. 引率・付き添いの方、応援の方

- 3-1 引率・付き添いの方、応援の方も施設内での行動は選手と同様となります。
上履き・下足入れの持参、会場内での食事禁止、ボルダー壁の使用禁止等ご協力ください。
- 3-2 館内は禁煙です。
- 3-3 役員・選手以外は競技エリア内への立ち入りはできません。

4. 競技について

- 4-1 予選についてはウォームアップエリアにてデモビデオを流します(予定)。各自自由にご覧ください。
- 4-2 ウォームアップは指定されたエリアで行うことができます。会場マップをご覧ください。
- 4-3 競技・進行・ローカルルール等については、会場アナウンスでお知らせを行います。
- 4-4 決勝受付後は、すみやかにアイソレーションゾーンに移動してください。
- 4-5 競技ルール、注意をよく読んで参加してください。

第8回近畿ユースクライミングカップ

タイムスケジュール

6月9日(土)予選				6月10日(日)決勝		
				9:00	女子選手受付開始 9:00~9:30	
10:00	選手受付開始(男女一斉)			9:30	女子選手受付終了	
10:30	受付終了			9:45	アイソクローズ	
11:00	選手集合・競技説明			10:30	オブザベーション(6分)	
11:10	男女競技開始				競技開始	
	女子グループ (Aルート)	男子Aグループ (Cルート)	男子Bグループ (Dルート)	11:30		男子選手受付開始 11:30~12:00
	37名	36名	28名	11:45		競技終了(予定)
	第1ルート競技終了(予定)			12:00	成績発表(予定)	男子選手受付終了
	成績発表はカテゴリごと随時			12:15		アイソクローズ
				12:45		オブザベーション(6分)
14:00	男女競技開始				競技開始	
	女子グループ (Bルート)	男子Aグループ (Dルート)	男子Bグループ (Cルート)	15:45		競技終了(予定)
	37名	36名	28名	16:00		成績発表(予定)
16:30	第2ルート競技終了(予定)			16:10	表彰式(予定)	
16:45	最終成績発表(予定)					
17:00	決勝競技ルート準備(各選手は速やかに帰宅すること)				会場施設を利用する選手は、正規の受付を必ず行うこと	

※本タイムスケジュールは、競技進行具合により変更になる場合があります。

※競技グループについては、競技順資料をご覧ください。

※タイムスケジュールが変更になる場合は、会場アナウンスにて連絡しますので十分に注意してください。

※9日予選終了後は、決勝ルートの整備を行います。決勝進出選手はすみやかに退出してください。

※決勝競技終了後に会場施設を利用する場合は、グラビティ・リサーチ受付にて正規の受付を行ってください。

予選競技順

男子予選	グループA(ユースA)	グループB(ジュニア/ユースB/ユースC)
女子予選	女子グループ(ジュニア/ユースA/ユースB/ユースC)	

男子グループA

府県	氏名	カテゴリ	Cランク	Dランク
大阪	石黒 咲弥	ユースA	1	51
奈良	西岡 佑真	ユースA	2	52
滋賀	伊勢 一真	ユースA	3	53
兵庫	吉崎 祥矢	ユースA	4	54
兵庫	塩路 直哉	ユースA	5	55
兵庫	小松 哉太	ユースA	6	56
兵庫	橋上 多聞	ユースA	7	57
兵庫	藤原 拓海	ユースA	8	58
兵庫	米田 勝利	ユースA	9	59
兵庫	山根 一翔	ユースA	10	60
奈良	山本 大雅	ユースA	11	61
奈良	東山 創大	ユースA	12	62
兵庫	根津 延義	ユースA	13	63
和歌山	竹之下 昇	ユースA	14	64
兵庫	清水 亮太	ユースA	15	65
奈良	高木 茶助	ユースA	16	29
大阪	谷 剣風	ユースA	17	30
兵庫	中村 佳祐	ユースA	18	31
兵庫	北村 匠	ユースA	19	32
大阪	伴 直輝	ユースA	20	33
和歌山	中場 惇人	ユースA	21	34
奈良	及川 温大	ユースA	22	35
大阪	小川 響	ユースA	23	36
兵庫	中屋 晴貴	ユースA	24	37
兵庫	橋口 大和	ユースA	25	38
兵庫	岸部 駿平	ユースA	26	39
兵庫	田中 輝郎	ユースA	27	40
大阪	谷本 有	ユースA	28	41
大阪	中村 遥希	ユースA	29	42
兵庫	中谷 学	ユースA	30	43
京都	藤井 俊介	ユースA	31	44
大阪	平澤 鼓太郎	ユースA	32	45
兵庫	濱野 翔太	ユースA	33	46
京都	元村 和貴	ユースA	34	47
大阪	溝口 裕介	ユースA	35	48
大阪	松本 幸馬	ユースA	36	49

男子グループB

府県	氏名	カテゴリ	Cランク	Dランク
奈良	書川 大和	ジュニア	41	1
滋賀	片山 綾祐	ジュニア	42	2
兵庫	白坂 翠	ジュニア	43	3
兵庫	長谷川 輝翔	ジュニア	44	4
京都	中山 祐生	ジュニア	37	5
兵庫	山本 壮太	ジュニア	38	6
兵庫	岩本 泰直	ジュニア	39	7
滋賀	高嶋 良和	ジュニア	40	8
滋賀	前田 健太郎	ユースB	50	9
滋賀	瀬川 寛	ユースB	51	10
大阪	辻本 匠	ユースB	52	11
兵庫	林 柊晴	ユースB	53	12
京都	奥本 遙琉	ユースB	54	13
京都	大西 淳太	ユースB	45	14
滋賀	畑瀬 晃太郎	ユースB	46	15
兵庫	西尾 日汰	ユースB	47	16
奈良	吉田 智音	ユースB	48	17
大阪	三根生 仁慈	ユースB	49	18
大阪	内木 智	ユースC	60	19
大阪	吉川 武志	ユースC	61	20
京都	依田 能宣	ユースC	62	21
和歌山	椿原 莉都	ユースC	63	22
大阪	石津 元崇	ユースC	64	23
兵庫	松岡 玲央	ユースC	55	24
大阪	田中 哲平	ユースC	56	25
兵庫	隅谷 楽	ユースC	57	26
奈良	田口 陽大	ユースC	58	27
奈良	谷井 和季	ユースC	59	28

女子グループ

府県	氏名	カテゴリ	Aランク	Bランク
滋賀	一與 芽生	ユースC	1	23
和歌山	津村 紗寿	ユースC	2	24
奈良	小倉 紗奈	ユースC	3	25
京都	中山 しおり	ユースC	4	26
和歌山	井口 愛友花	ユースC	5	27
和歌山	荒居 美咲	ユースC	6	28
奈良	東 陽妙	ユースC	7	29
大阪	津野 和奏	ユースC	8	17
和歌山	山東 美空	ユースC	9	18
大阪	谷川 日向子	ユースC	10	19
奈良	抜井 美緒	ユースC	11	20
奈良	堀内 綾月	ユースC	12	21
兵庫	西 優月	ユースC	13	22
大阪	小山 芹菜	ユースB	14	34
兵庫	弘井 羽未	ユースB	15	35
京都	清水 萌翔	ユースB	16	36
大阪	中川 瑠	ユースB	17	37
兵庫	三浦 奈々	ユースB	18	30
京都	内藤 千裕	ユースB	19	31
大阪	太田 千尋	ユースB	20	32
和歌山	鈴木 彩	ユースB	21	33
和歌山	出口 えり	ユースA	22	6
兵庫	奥村 菜々美	ユースA	23	7
京都	三谷 澄香	ユースA	24	8
大阪	井内 瑠南	ユースA	25	9
奈良	高田 明里	ユースA	26	10
兵庫	土岐 萌々花	ユースA	27	1
滋賀	村上 真彩	ユースA	28	2
京都	中山 美依	ユースA	29	3
滋賀	寺内 瑠夏	ユースA	30	4
大阪	笠原 英留	ユースA	31	5
奈良	長谷川 優香	ジュニア	32	14
兵庫	森本 遥月	ジュニア	33	15
大阪	黒岡 水夢	ジュニア	34	16
京都	奥本 紗梨	ジュニア	35	11
滋賀	紅谷 幸那	ジュニア	36	12
滋賀	野上 汐梨	ジュニア	37	13

競技上の注意と選手に知っておいて欲しいルールなど

《 予選競技について 》

- ① 予選は、全選手が2ルートをフラッシングで登る形式です。予選では、アイソレーションは行わず、他の選手の競技を自由に見ることができます。
- ② 受付後も選手は、自分の競技順が来るまで自由に行動できます。競技順が遅い場合は、会場を離れていただいても構いませんが、競技の進行が早まる場合もありますので、余裕を持って会場にお戻りください。
- ③ ウォームアップは、指定された場所で行うことができます。(競技に使用する壁の裏側の壁のみ)
※3F・4F ボルダー用の壁を登ることは全て使用禁止します。
- ④ 競技に先立って、予選ルートのビデオデモをウォームアップエリアにて繰り返し流します。
- ⑤ 競技の進行が早まることもあります。場内アナウンスでお知らせしますが、各選手でも競技の進行状況を確認するようにしてください。
- ⑥ 競技の順番が来た時点で、待機場所に来ていない、または競技の準備ができていない場合は、棄権と見なします。この場合、成績は競技を行った選手中の最下位の選手の下位となります。
(例えば、20名の選手が登った場合は21位)
- ⑦ なお、最初のルートを棄権しても次のルートには参加できます。逆に最初のルートに参加し次のルートを棄権しても失格にはなりません。いずれの場合も、棄権したルートの成績は全選手中の最下位となりますが、総合成績が出ます。

《 決勝競技について 》

- ① 決勝は、各年齢別グループ単位で年齢の若いグループから行います。
- ② アイソレーションルームへは、最低限以下のものを持参してください。
ハーネス、クライミングシューズ、チョーク(バック)、飲料・食料(軽食)、各自必要な物
※その他の各自の荷物については、アイソレーションに入る前に競技会場内で保管してください。
ロッカールームへ置いてくることは禁止します。
- ③ 携帯電話などの外部との通信可能な機器の持込みは禁止です。受付前に保護者、引率者の方、競技に出場しない知り合いの方へ預けておいてください。(主催者側では、預かりません)
これらの機器を持ち込んだ場合は、失格になる場合があるので注意してください。(通信機器を使用し外部からルート、成績などの情報を得た場合) **※アイソレーションへの持込みは厳禁です。**
- ④ 受付時間は、厳守すること。また、受付後出場選手は速やかにアイソレーションへ入ってください。
選手は、アイソレーションのクローズの後は、各自の競技終了まで主催者の管理の元におかれ、ルートの事前下見(オブザベーション)と自分の競技時以外はアイソレーションから出ることはできません。従って待機中に必要な食料、飲料などは必ず持参して入ってください。
- ⑤ アイソレーションには、付き添い者が入ることはできます。ただし、参加者数が多数(場所が狭い)なので、やむを得ない事情の有る場合以外にご遠慮ください。
付き添い者は、随時アイソレーションルームから出ることができますが、アイソレーションクローズ後は、再度入ることはできません。またオブザベーションや競技前の最終待機所へも付き添い者は同行できません。
- ⑥ オブザベーションは、競技開始前に選手全員で行うルートの下見です。時間は6分間で、残り時間1分の時点でタイム担当からその旨が告げられます。

- ⑦ オブザベーションの際は、スタッフの指示に従って行動してください。その時、競技順 1~3 番の選手はハーネスを着用し、荷物を最終待機所へ置いて競技エリアへ移動してください。
- ⑧ オブザベーションは、定められた範囲の中で行ってください。台・椅子等にかかる、肩車などはしてはいけません。また、双眼鏡などの使用、手書きの記録は認められますが、ビデオカメラなどの記録機器の使用は禁止です。
- ⑨ オブザベーション中に観客など（付き添い者、知人、保護者など）と会話することは認められていません。ルートの内容などに関する会話を観客と行った場合、即時に失格となります。質問がある場合は、ジャッジへしてください。
- ⑩ オブザベーション終了後は、競技順 1~3 番の選手は最終待機所（コールゾーン）に、それ以外の選手はアイソレーションルームへ、スタッフの指示に従って移動してください。

《 共通ルールなど 》

- ① 競技時間は、予選は 5 分、決勝は 6 分間です。

競技エリアに入った時点から 40 秒以内に登り始めてください。40 秒経過時にジャッジから警告が与えられ、それを過ぎて登り始めない場合、失格となります。なお競技時間の計測は、予選では最終待機場所から壁の前（指定したライン）に移動した時点から、決勝では、選手が登り始めた時から開始します。
- ② 選手は、残り時間を随時確認することができます。残り時間が 1 分の時点でのコールはありません。
- ③ ハーネスは、メーカーが指定した方法で正しく装着してください。
- ④ ロープをハーネスに結ぶ時は、必ず 8 の字結びで行ってください。
- ⑤ 予選、決勝共にルートにテープ囲いのマーキングをする場合があります。（近畿ユース ローカルルール）
- ⑥ ルートが規則に従って登られ、定められた競技時間内に、ルートの最終クイックドロウにロープがクリップされたとき、完登と見なされます。
- ⑦ 選手は、ルートのアテンプト中（を登っている時）、クイックドロウに順番（下から）にクリップしないといけません。
- ⑧ 選手は、アテンプト中は常時レジティメイト・ポジションでなければなりません。それは、以下の場合を言います。
 - ・同じカテゴリー/年齢別グループの他の選手がクリップ可能であることを示している場合。
 - ※この場合のクリップは、クイックドロウを足で引き寄せたりしないで行うこと。
 - ※また、その状態から未クリップのクイックドロウにクリップ可能であるとチーフ・ルートセッターが判断した場合。
 - ・クイックドロウについて特定のホールドまたはその手前のホールドからクリップしなければならない場合があります。その場合は、その旨を全選手に周知し当該ホールドとクイックドロウに青色十字のマークを行い、オブザベーション時に周知します。

このレジティメイト・ポジションをはずれた場合は、その時点で競技中止となりますので注意してください。
- ⑨ クリップについてのレジティメイト・ポジションをはずれた状態でのいかなる動作も上位の成績として評価はしないので、注意してください。
- ⑩ Z クリップは、速やかにやり直してください。その際、上下いずれかのカラビナからロープを外しても構いませんが、最終的にクリップしていないカラビナがあるままに登り続けることはできません。

※クライムダウンをしてクリップをやり直すことができます。
- ⑪ 壁の左右、上端の縁を使用してはいけません。この場合もその時点で競技中止となり、その時点までの最高到達位置が記録となります。

※黒色テープでマーキングされた箇所は（デマケーション）、使用してはいけません。オブザベーション時

に注意します。

- ⑫ 競技中にホールドが回転する、あるいはビレイヤーのロープ操作の不手際といった、選手自身に起因しないことがらで、競技に支障をきたすことがあった場合、テクニカル・インシデントを申し出ることができます。この申し出に対し、ジャッジがテクニカル・インシデントと認めた場合、再度登ることができます。当該の選手は、そのルートの再アテンプトを概ねテクニカル・インシデント発生までに使用した各ハンドホールドあたり1分間、最長20分間の認められた回復時間の後に、行うことが認められます。
※テクニカル・インシデントは、選手に対し不利な事象、有利な事象について適用されます。これらは選手からの申告、ジャッジからの指摘によるものです。
- ⑬ クライミング・ウォールのホールドを取り付けるための穴を手で使用することは禁止です。
※ウォールに取り付けられている張りぼてのホールド取り付けの穴も同様です。
- ⑭ 成績については、フォール（墜落）、もしくは競技中止（停止）時点で、手で保持していたホールドの高度（位置）によります。ルートがトラバース（横移動など）している場合など、見かけ上は高度が低い位置のホールドが、高い数字を与えられる場合がありますので注意してください。
- ⑮ あるホールドを保持しその後、次のホールドを取るのに有効なムーブ（動き）おこなったと見なされる場合、その保持しているホールドの高度の+（プラス）になります。
- ⑯ 完登後は、ビレイヤーの指示に従いローダウンしてください。
- ⑰ **IFSC ルール 2018 年度版**に準じて競技、審査を行いますので、選手及び保護者、引率者の方はルールの内容を理解していただきますようお願いいたします。
※競技施設などの条件により、近畿ユースクライミングカップのローカルルールを適用しています。
※IFSC のルール及び解説については、JMSCA（日本山岳・スポーツクライミング協会）のホームページで公開されています。

《成績》

予選では、2ルートを登るので、その各ルートの成績を総合し順位を決めます。

①各ルートの順位ポイント算出

- A) そのルートで順位が単独の場合、その順位の値
B) 2名以上の同着がある場合、同着選手の平均順位の値

例 **2位に4名の同着があった場合**、同着の各選手に

$$(2+3+4+5) \div 4 = 14 \div 4 = 3.50 \text{ が順位ポイントとして 4名に与えられる。}$$

↓

2位 3位 4位 5位の順位合計を4名で割り順位の平均値を算出する

②予選順位は、各選手に与えられるトータルポイントの昇順とします。

A) トータルポイントの値が小さい方が上位

$$B) TP = \sqrt{R1 \times R2}$$

TP=トータルポイント R1=最初のルートの順位ポイント R2=2番目のルートの順位ポイント

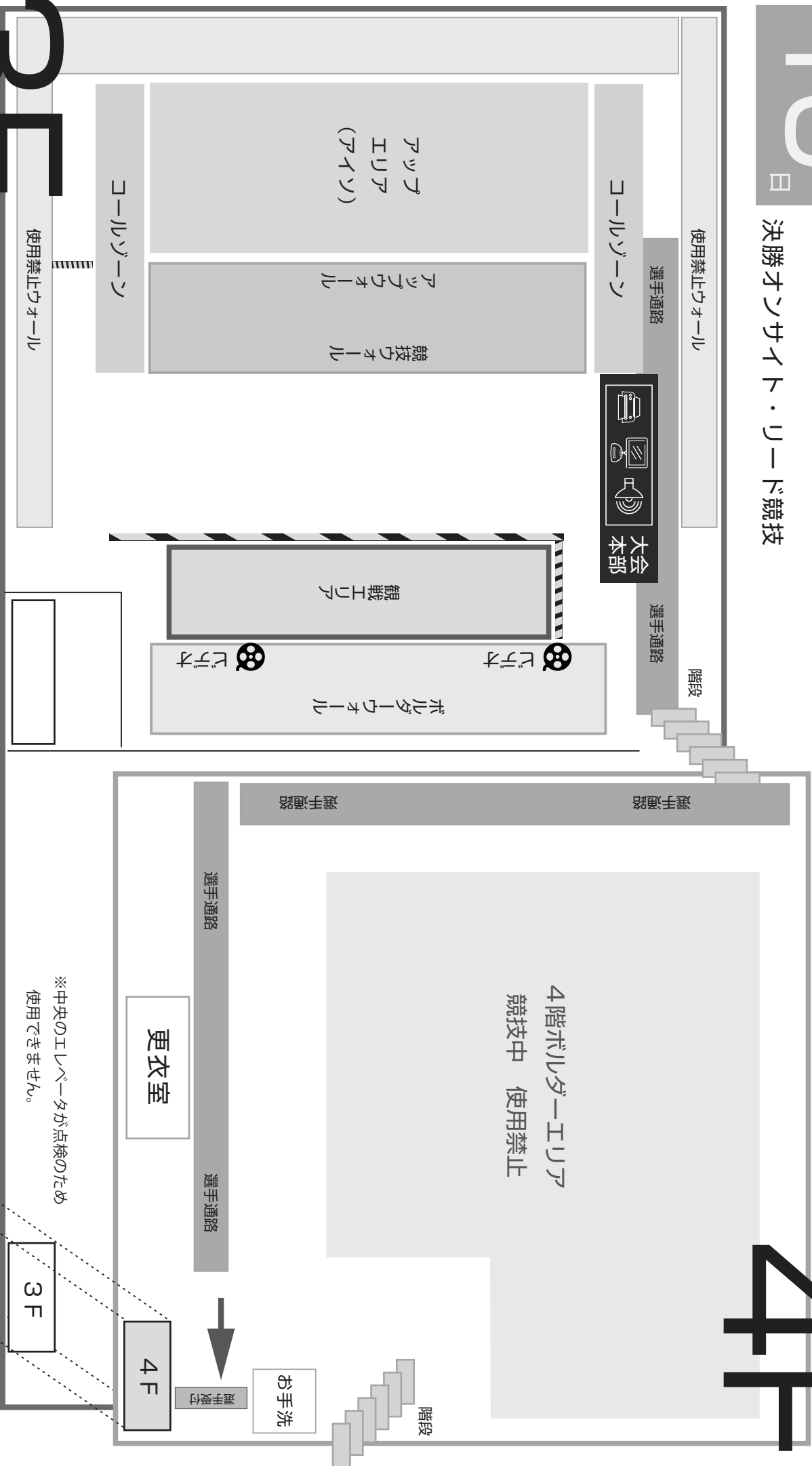
決勝で同着が出た場合は、予選の成績を考慮して順位を決定します（カウントバック）。それでもなお同着があった場合は、時間記録が速いものを上位とします（決勝1～3位のみ）。総合優勝者の決定に際しても同様です。

第8回 近畿ユースクライングカップ 会場マップ

決勝オンサイト・リード競技

10

4F



※中央のエレベーターが点検のため
使用できません。

3F

3階・4階ボールゲームエリアは競技中 使用禁止です

